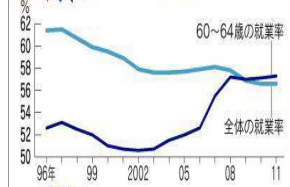


若者の就職難のもたらすもの

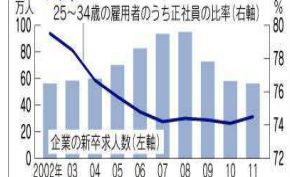


雇用を阻むのは...

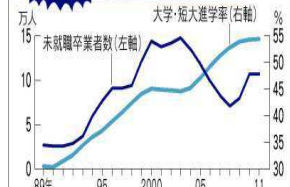
シニア雇用 職場にとどまる団塊世代



企業 狭まる門戸



若者 高学歴でも就職難



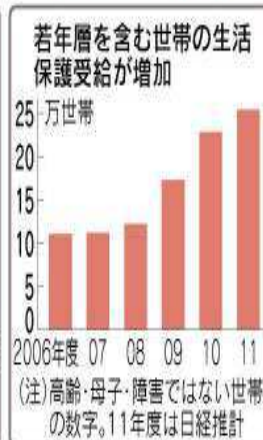
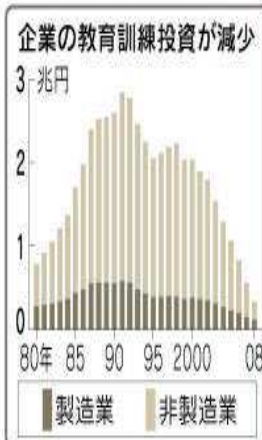
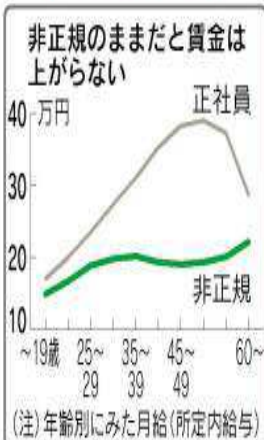
若者の就職難が招く日本の危機

無職者・非正規労働者の増加

所得の低迷

人材育成の停滞

社会保障の不安



・消費の低迷
・社会の活力低下

・労働力の劣化
・新興国との競争に敗北

・年金などの担い手減少
・国民負担増加

(日本経済新聞 H24. 7. 16朝刊)

若者の就職難の理由の一つには高齢者雇用の拡大があります。定年後継続雇用のが、新卒採用の縮小につながっています。その結果、非正規社員が増え、いずれ生活保護の受給者となり、「支える」はずが「支えられる側」に戻ってしまう若者が増えれば、社会保障の破綻にもつながりかねません。また、企業の教育訓練費はピーク時の1/8に減っていますが、「人材」こそ企業発展の原動力で、他社が削っている今こそ、差別化を図るために投資をしていくチャンスとも言えるのではないのでしょうか。